



平成25年12月期 第2四半期業績予想及び  
通期業績予想の修正に関するお知らせ  
(補足資料)

株式会社 **ニッセンホールディングス**  
2013年7月5日

CONTENTS

- P2. 平成25年12月期第2四半期連結業績予想
- P3. 平成25年12月期通期連結業績予想
- P4. 平成25年12月期上期・下期セグメントPL予想

※このプレゼンテーション資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の経済動向、業況の変化、為替レート等の要素により、予想数値とは大幅に異なる場合があります。

※金額は、基本的に単位未満を切捨表示しております。

(単位:億円)

	当初予想 (13/2/1付)	修正予想	増減額	予想対比	(ご参考) 前年同期 実績	増減額	前年対比
売上高	1,083.0	1,026.0	△57.0	△5.3%	701.4	324.6	+46.2%
営業利益	5.5	△17.1	△22.6	—	8.7	△25.8	—
経常利益	5.6	△13.2	△18.8	—	13.4	△26.6	—
当期純利益	3.3	△12.1	△15.4	—	11.3	△23.4	—
1株当り当期純利益(円)	5.43	△19.94	—	—	20.15	—	—

- ✓ 主力事業会社のニッセンでは、販促効率の改善に向け新規顧客獲得を中心にプロモーションコストを抑制したため稼働客数が減少、また気候の変化に合わせて必要な物を必要な時に購入するという実需指向が進んだマーケット環境の中、カタログ発行時の季節感のズレも加わり、既存顧客からの売上も想定以上に減少し営業損益は赤字が見込まれる。
- ✓ シャディ関連連結3社(連結対象期間:平成24年10月1日~平成25年3月31日)では、基幹システム入替によるトラブルの影響が、販売ピーク時のお歳暮商戦時に発生、また昨年1月~3月の新システム導入時の混乱で発生した売上減の回復を見込んでいたが、今年1月~3月の売上高は十分に戻らずに計画を下回り、販管費の抑制を図ったものの営業損益は赤字となった。
- ✓ 投資有価証券売却益を計上する一方で、繰延税金資産を取り崩し法人税等調整額を計上。

(単位: 億円)

	当初予想 (13/2/1 付)	修正予想	増減額	予想対比	(ご参考) 前年通期 実績	増減額	前年対比
売上高	2,168.0	2,003.0	△165.0	△7.6%	1,766.1	△236.9	+13.4%
営業利益	16.0	△28.0	△44.0	—	6.0	△34.0	—
経常利益	15.0	△26.0	△41.0	—	9.8	△35.8	—
当期純利益	10.5	△27.0	△37.5	—	2.3	△29.3	—
1株当り当期純利益(円)	17.30	△44.50	—	—	4.00	—	—

- ✓ 主力事業会社のニッサンにおいて、稼働客数増加に向けての対策を実施するとともに、旧来のカタログを見直してネットへの比重を高めていく予定ではあるが、これまでの稼働客数減少の影響が大きく、短期的には厳しい状況が続くことが予想される。
- ✓ シャディ関連連結3社やファイナンス事業においては、金融子会社での貸倒引当金の積み増しを見込んでいるものの、下期は概ね年初計画通りの推移となる見込みである。

(単位:億円)

		13年当初予想			13年修正予想		
		上期	下期	合計	上期	下期	合計
コマース	売上高	1057.0	1058.0	2,115.0	998.9	950.5	1,949.2
	営業利益	8.4	12.9	21.3	△15.3	△8.2	△23.6
	経常利益	8.3	12.5	20.8	△14.8	△8.6	△23.3
ファイナンス	売上高	7.0	7.6	14.6	7.8	7.5	15.4
	営業利益	△0.3	△0.2	△0.5	0.4	△0.2	0.1
	経常利益	0.5	△0.3	0.2	3.7	△1.4	2.3
その他	売上高	20.0	20.0	40.0	19.8	19.6	39.4
	営業利益	0.4	0.1	0.5	0.5	△0.0	0.4
	経常利益	0.2	△0.1	0.1	0.4	△0.2	0.2
調整額	売上高	△1.0	△0.6	△1.6	△0.8	△0.3	△1.1
	営業利益	△3.0	△2.3	△5.3	△2.6	△2.3	△4.9
	経常利益	△3.4	△2.7	△6.1	△2.4	△2.6	△5.1

- ・調整額は、セグメント間取引消去及び純粋持株会社として必要な運営コストを含めております。
- ・本頁の金額につきましては一部端数調整をしております。